

意見募集結果公表資料

案 件 名	(仮称) 京都中部総合医療センター新棟整備基本構想 (案)	公 表 日	3月3日
<p>上記案件について、貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございました。 お寄せいただいたご意見及びそれらに対する当院の考え方を以下のとおり公表いたします。</p>			
意見募集期間	令和4年1月26日～令和4年2月15日	意 見 数	2件 (8項目)
No.	意 見 の 要 旨	当 院 の 考 え 方	
1	<p>今後、新棟整備基本構想を具現化されるにあたって、貴院ホームページだけでなく、亀岡市・南丹市・京丹波町の広報誌等も含めて、広く情報公開を行い、事業を推進していただきたい。(最低限亀岡市・南丹市・京丹波町の広報誌に貴院ホームページ内で情報公開していることは随時発信していただきたい。)</p>	<p>新棟整備事業に関する情報については、当院のホームページにおいて情報提供していく予定です。また、亀岡市・南丹市・京丹波町に対しては情報提供等の協力要請を必要に応じて行っていきたいと考えています。</p>	
2	<p>新棟整備にあたり、八木駅からのアクセス確保に努めてもらいたい。(可能な限り、八木駅と病棟までの通路が直結に近い形で実現させてもらいたい。)</p>	<p>新棟の整備エリアは、八木駅からの利便性を最優先として第二病棟東側に建設することとしています。(徒歩で5分程度)八木駅西ロータリーから当院までのアクセスとしては、八木駅西区画整理事業において利便性の高い道路が整備される予定であると聞いています。</p>	
3	<p>現本館診療棟及び第一病棟跡地の活用はどのように検討されているのか。仮に解体した場合また解体せずに一部の建物を残した場合も含めて、跡地活用の方向性も可能な範囲で明示していただきたい。</p>	<p>本館診療棟側の施設については、移転後に解体し更地にする予定です。跡地の利活用について、現時点においては、当院としての具体的な計画は持ち合わせていません。八木町の中心市街地であり南丹市の将来のまちづくりに大きく関わることから、地域の活性化や地域住民の安心安全が図られるよう、市当局ともよく相談、協議し慎重に検討していきたいと考えています。</p>	
4	<p>現在、貴院への通院アクセスは自家用車が大半と思われる。しかし、今後さらなる高齢化の進展及び運転免許返納に伴い通院困難となる方たちが増えてくる。貴院単独で解決できる話ではないが京都府及び亀岡市・南丹市・京丹波町も交え、新棟整備と並行して交通アクセスの確保(通院バス等)についても協議していただきたい。</p>	<p>高齢者をはじめ自分で外出することが困難な方々にも使いやすく安全な移動手段を確保することは、これからの超高齢社会において重要な地域課題であると認識しています。当院としても各自治体の取り組みにできる限り連携・協力していきたいと考えています。</p>	

5	<p>今回の新棟整備が単なる病院新築だけで終わらせず亀岡市立病院、京丹波町病院、和知診療所、南丹みやま診療所を初めとした南丹医療圏における病院間連携、持続可能な医療提供体制の構築に結びつけてもらいたい。</p>	<p>南丹医療圏の他の公立病院とはこれまでから医師の派遣等様々な支援や連携を行っています。新棟整備基本方針のコンセプトにも掲げていますとおり、当院は地域医療連携の核となる病院を目指し、京都府から指定を受けた地域医療支援病院として地域の医療機関などへの支援を進め、医療圏全体での医療水準の向上を支援するとともに、医療圏内外を含めて広域的な連携を図っていきたいと考えています。</p>
6	<p>二か所の個室でお世話になりましたが、はじめの個室は南向きで陽当たりがよく、春でしたが日中は少し暑く感じられるほどでした。けれども、次に移った個室は朝に少しの日光しか入らず、日中でも肌寒く感じられるときもありました。患者にとり、陽当たりは大切に陽が差し込んでいると心が前向きになり励まされます。難しいことかもしれませんが、病室はできれば、万遍なく陽当たりがよい構造を望みます。退院が近くなると日光浴、気分転換、リハビリを兼ねて渡り廊下を毎日、陽当たりの良い時間帯に陽の当たる場所を選んで歩いていました。自然採光を活かした明るい病院づくりを望みます。</p>	<p>患者様に安らぎと安全・安心な療養環境を提供するため、病室は個室及び4床室のいずれにおいても患者様のプライバシーに配慮した設計にするとともに、採光・レイアウトなど患者様の利便性や快適性に配慮しつつ、十分な医療行為が行えるスペースを確保していきたいと考えています。</p>
7	<p>病院のまわりは自然環境に恵まれています。病院の敷地内には緑や花が少なく、せめて植物があれば、入院患者の心が少しでも慰められるのにと思いました。</p>	<p>患者様に優しい療養環境を提供するために、周辺の豊かな自然と調和した植栽や花壇など緑や花が身近にある病院環境の実現を目指していきたくて考えています。加えて、自然素材の内装材やアート作品などにより癒しと安らぎのある空間の導入を検討していきたくて考えています。</p>
8	<p>同様に、病棟内の壁などに、ホスピタルアートが施されればよいのではと思います。難しいかもしれませんが、患者の心が少しでも明るくなり、和むのではと思います。</p>	<p>患者様に優しい療養環境を提供するために、周辺の豊かな自然と調和した植栽や花壇など緑や花が身近にある病院環境の実現を目指していきたくて考えています。加えて、自然素材の内装材やアート作品などにより癒しと安らぎのある空間の導入を検討していきたくて考えています。</p>